

2022年3月1日

ロシア連邦 ウラジミール・プーチン大統領閣下

貴国のウクライナ軍事侵攻に関する申し入れ

日本労働組合総連合会北海道連合会
会長 杉山 元

3月24日、貴殿は自国民に向け、ウクライナ東部での軍事作戦実施の決定を表明した。ウクライナの非軍事化が目的であり、占領は計画していないとも述べた。同日、貴国軍は、ウクライナの首都キエフなどの軍事施設をミサイルで空爆し、ベラルーシ国境や南部クリミア半島との境界の施設を攻撃した。戦禍は拡大し、いまや民間人の死傷者も出ている。

連合北海道はこの軍事侵攻を厳しく非難し、即時の作戦中止と撤退を強く求める。

貴国のウクライナ東部地域の一方的な独立承認などの一連の行為は、ウクライナの領土と主権を侵害し、紛争の平和的解決を義務付ける国際法に反する。

貴殿は、冷戦終結後の北大西洋条約機構の東方不拡散合意と「ウクライナ東部の2地域に幅広い自治権を認め特別な地位を与える」とのミンスク合意の履行も求めている。

しかし、ウクライナは主権国家である。国連に加盟し国際社会が承認している。国連憲章は武力による威嚇や武力行使について、いかなる国の領土保全や政治的独立に対してであっても慎まなければならないと規定している。

貴国は国連の一加盟国ではない。安全保障理事会の常任理事国である。国際法を順守する責任は、より重い。

また、貴殿は核抑止部隊に特別態勢を取るよう命じた。核兵器による威嚇は許し難い。唯一の被爆国である私たち日本国民は、核兵器のもたらす惨状を唯一経験した国民として核兵器の廃絶を求める。長崎に次ぐ第3の戦争被爆地を生むことは絶対にあってはならない。

私たち連合北海道は、この軍事侵攻と核兵器による威嚇を厳しく非難し、即時の作戦中止と撤退を求めるものである。

以上